

## 総題 “イザヤ”

教団青年部

2021年3月6日～13日

第11課 題：行動する愛

執筆者：島田隼人

### ● 今週のポイント

- ① キリストの十字架によって示された神様の愛を知った時、私たちは「行動する愛の僕」へと変えられます。救われた喜びを知るために、十字架で完成された救いについて学び続ける必要があります。
- ② 「神の赦しという賜物は、それが真実に受け入れられるなら、心をつくり変えるからです。」（金曜日のまとめより）。全ては「心」から始まるのです、心が神様の愛で揺り動かされた時に、「行動する愛」の人生が始まるのです。
- ③ 救いの計画は、「偉大な神秘の中で最も大いなる神秘」です。人間の限られた頭では理解することのできない計画ですが、恵みと信仰によって（エフェソ2：8）心で信じるのです。この救いの計画の学びは永遠に続きます。人知を超えた救いの計画を学ぶ時、私たちは「神の神秘のなんと偉大なことか」と叫ぶのです。（月曜日より）
- ④ 「偽りの断食」と「真の断食」の違いはなんでしょうか。偽りの断食とは、「自己中心的」な生き方であり、真の断食とは、「自己犠牲的」な生き方です。イザヤ書58章3節～7節と詩篇146編7節～9節を読んでみましょう。これらの聖句から、真の断食の生き方を学ぶことができます。新約聖書において、イエスさまが語られた「善いサマリア人」（ルカ10章）の生き方こそ、まさに神様が求めておられる「真の断食」なのではないでしょうか。
- ⑤ 安息日とは、私たちが誰（何）を第一にしているのか、誰（何）に依存しているのかをはっきりと示します。副読本よりの抜粋を紹介いたします。

安息日遵守と神との関係には密接なつながりがあります。「安息日を喜びの日」と呼ぶ者は（13節）、「主によって喜びを得」ます（14節）。主の日は、私たちが神との特別で絶妙な楽しみを享受する時です。神は最初から、第七日安息日を祝福し、聖別されました（創世記2：3）。この聖なる24時間を創造主にささげ、聖なる時を過ごすすべての者は豊かに祝福されます。神の救済のように、安息日はすべての人に無代価で与えられています。神の惜しみない無代価の賜物を受け入れないわけがありません。（ロイ・ゲイン「イザヤ書研究」副読本 p.122）

### ● ディスカッションのためのテーマ

- ① 私たちは、どれほどの思いで「救いの計画（神秘）」を知ろうと願っているでしょうか。「心」を尽くして救いの神秘を求めているでしょうか？ 今の自分の信仰を率直に話し合みましょう。
- ② 真の安息日遵守（イザヤ58：14）は、人を助けると同時に喜びをもたらします（イザヤ58：10、11）。このような祝福を体験するために、あなたの生活で何か変えなければならないことがあるでしょうか。（木曜日より）また、金曜日の話し合いのための質問③から安息日の守り方について話し合ってみましょう。